

○倉橋惣三先生が久々で関西を訪はれたことは、保育界にとつて有意義なことであつた。夜おそくまでホテルの部屋に何十年ぶりで先生を囲んで時の過ぎるのも知らずに談笑して過ぎた一週間は、先生にとつても、又多くの方々にとつても懐かしいものだったに違いない。

○日本に幼稚園が生れてから、七十數回目的春を迎えるに當つて、私共の幼稚園の足もとをしつかりとみつめて、希望と共に計画を練ろう。

○幼稚園の三月は忙しい。三月は年の暮である。手しおにかけて来た子供達を送り出して、感傷に浸る間もなく来るべき年度の計画に追われる。新入園児を迎える抱負を各地の幼稚園の逞ましい息吹の中に見ることの出来るのは喜ばしい。

○童話の世界は子供の世界ある。子供

編集後記

と共に何気なく過す日常の生活の中からもつと童話が生れてこないものだらうか。子供を愛する先生方の中から童話が寄せられることを期待する。

○数年病床に就かれながら、幼稚園教育のために盡力された、和田実先生が、一月十四日、急に亡くなられた。本誌二月号に寄せられた、先生の幼稚園各方面に、批判を求められた御意見は、読者の記憶にも新しいことであらう。先生は幼稚園界にあつて数十年、実に、純粹に幼稚園教育のために盡くされた方である。営利主義の波が幼稚園の中にまで押しよせる時も、時には頑固な程に、純粹に身説を主張し、純粹な幼稚園教育を保持されようとし、ために誤解を招くことも屢々だつたととき。先生の幼稚園教育に対する純な思ひは、いつまでも幼児教育の上に光り輝やくであらう。

幼児の教育 第五三巻 第三号

定価金五十円

昭和二十九年二月二十五日印刷

昭和二十九年三月一日発行

東京都中野区千光前町一〇

編集兼 倉橋惣三
発行者

東京都文京区大塚町三十五
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町二ノ五
株式会社 フレーベル館
振替口座東京一九六四〇番

○本誌御購読についての御注文は発売所
フレーベル館にお願いします。